

令和5年度 第4回 大和市立病院運営審議会（書面開催） 意見要旨

意見提出期間 令和5年3月25日（月）～3月29日（金）

意見提出者 横田委員（医師会） 大橋委員（医師会） 木山委員（医師会）
山田委員（市議会） 小倉委員（市議会） 相澤委員（利用者の代表）
南淵委員（学識経験者） 安川委員（市長の認めた者）

議題 地域医療支援病院に関する報告について
令和6年度当初予算について

資料 地域医療支援病院の業務遂行状況
令和6年度当初予算について
令和6年度 病院事業会計・当初予算の概要

議事

地域医療支援病院に関する報告について

資料の「地域医療支援病院の業務遂行状況」を用いて、意見・質問を求めた。

【意見】

3 地域の医療従事者に対する研修実績

・オンライン開催を取り入れることで研修者数も増加しており評価に値する。

4 紹介率・逆紹介率の実績

・紹介率・逆紹介率が着実に増加しており、機能分化推進に努力されていることを評価する。

5 患者相談実績について

・入退院支援の数が増加しているが、特に退院後の行き先や生活は不安に感じる方が多いと思われるので、丁寧に寄り添う支援をお願いしたい。

【質問】

1 共同利用について

2) 高度医療機器等の利用実績

Q1:土曜日の利用率は伸びているのか。伸びていない場合は、より周知が必要ではないか。

A1:

令和5年10月から運用開始し、令和6年1月まで52件（1日平均3.3件）の利用がありました。

土曜日のMRI検査は、高度医療機器等の共同利用に加え、当院受診中の患者も実施しています。

高度医療機器等の共同利用が占める割合は全体の43.0%となっており、検査枠数が埋まっている日が続いている状況です。

Q2:令和5年度は数値が軒並み低くなっている理由は。

A2:

今回の報告は令和6年1月までの実績報告となっています。月平均に換算すると、令和4年度は146.1件、令和5年度は154.7件です。前年度比8.6件増加しています。

2 救急医療の提供実績

Q1:救急車で搬入された患者のうち、選定療養費を請求した患者数は何名か。

A1:

請求した患者はいません。

3 地域の医療従事者に対する研修実績

Q1:実施回数のうち、オンライン開催の割合は。

A1

11.1%(実施回数18回、うちオンライン開催は2回)

その他

Q1:病院の医療業務にはその病院の医療体制により、診療行為に対する「点数加算」が設けられており、中には医師を始めとした専任スタッフの拡充が要求されるものもあり、例えば集中治療(室)管理料のように、患者重症度の指標の高低をも基準として保険点数請求に「差をつけられる」ものもある。大和市立病院における、そのような「加算」が得られる施設認定の習得の現状や今後の展望についてはいかがか。

A1:

令和6年3月1日現在の施設基準の届出状況は別紙のとおりです。今後は、令和6年度診療報酬改定による施設基準の変更に対応するとともに、総合入院体制加算2、認知症ケア加算1、医師事務補助体制加算2(15対1)、医療DX推進体制整備加算などの届出を検討していきます。

以上